

八重山 教育情報

第11号

発行：沖縄県教職員組合
八重山支部
石垣市登野城7-2
官公労共済会館2階
TEL: (0980) 82-3264
E-mail: otu-y@cosmos.ne.jp

ソウル
魂において頑固
マインド
心において柔軟
スピリット
精神において活発

第五十九次支部教研終わる

二十日(土)に第五十九次支部教研が官公労共済会館と石垣市健康福祉センターにおいて開催されました。

十三時から全体会(十七名参加)と分科会が行われました。分科会は学校事務・幼児教育・学校保健・総合の四分科会に分かれました。

合同分科会では、総合学習「平和月間特設授業に参加して」・道徳「ハンセン病の向こう側」・音楽「音楽文化への理解を深める表現と鑑賞との関連を図る実践」・数学「図形の事前学習のとりくみ」の四本のレポートが発表され、活発な意見交換がなされました。

学校保健・学校事務・幼稚園教育の分科会では、場所を移し、少ない人数の参加で残念でしたが、楽しく充実した話し合いができました。

十八時からは教育講演会が二十一名の参加で行われ、講師の福田誠治さん(都留文科大教授)から「子どもの豊かな学びを支援する教育へ」と題し、講演をお聞きしました。

デンマークやフィンランドの教育について、「政府はお金を出すのが口は出さない」「学校の先生は専門職であり、国が信頼をしている」とことや PISA テストはなぜできたのか、何を目的としているのか。日本も学習指導要領ははじめは「試案」であり、その中には単なる「手引き」に過ぎない。教科書もそのまま教えてはいけないことなどが書かれていたということです。その後いつの間にか管理が強くなったようです。

教育行政の方にぜひ聞いてほしい内容です。



参加者が少なく残念!



講師の福田誠治さん

レポートが4本発表された合同分科会
中央教研に参加し、全国教研まで行ってほしいです。



学校保健分科会の
養護教諭のみなさん!
さわやかな笑顔が
魅力的です。



事務職員部の
若いみなさん!
パワフルでした。



人事要求書手交

10月に入り、人事異動の調書を作成する季節となりました。それにともない10月15日(月)県教育委員会へ、16日(火)八重山教育事務所へそれぞれ「2013年度人事異動に関する要求書」を提出しました。

その中で、人事担当からは調書の要望等(200字以内)の欄はしっかり見ているので記入をお願いしたいとのことでした。調書を出す段階で何も書かれていない場合は苦情を出しても厳しいということです。

その他にもいろいろありましたが、異動調書の書き方で質問のある方は、八重山支部まで連絡をください。人事異動に関しては組合が直接交渉できます。内示が出てから慌てないようにしましょう。

県教育庁人事係と
情報交換



八重山教育事務所
人事担当者との情報
交換

加入目標	200名
現加入者	171名
新加入者	22名
目標達成まで	29名



全体会では、基調報告や教研の課題が提起され、教研の誓いを採択しました。

人事異動学習会
参加者が少なかったのですが、
みなさん大丈夫ですか？

十月二十六日(金)に沖教組本部から藤田副委員長が来島し、「人事異動学習会」を行いました。人事異動対策方針、人事異動作業日程、県教育委員会への要求書、特殊事情の審査基準についての説明などの後、参加者からの質問を受け付けました。人事異動での不安やそれぞれ自分のケースの場合はどうしたらよいか。調書の書き方や要望欄の事例など詳しく聞くことができました。学習会へは八名ほどの参加しはなく、異動対象の方は大丈夫なのか心配です。調書の書き方ひとつで苦情を出したときの対応も決まります。何かあれば支部まで連絡をください。



人事異動学習会

労金交流スポーツ大会

推進委員会主催の「労金会員交流スポーツ大会(競技:ソフトバレーボール)」が二十一日(日)十二時三十分から石垣市総合体育館で会員二十チームの参加で行われました。沖教組八重山支部も参加しましたが、人数が集まらず、八重山特別支援学校の方に応援をしていただきました。一回戦目は「八重山病院の〇ハニー」チームと対戦し、勝ち進みましたが、二回戦目は「労連ファイターズ」チームと一対一となり、じゃんけんで負けてしまいました。優勝は「沖縄電力青年部」チーム、準優勝は「労連ファイターズ」チームでした。普段は余り交流することのない他の労働組合のみなさんと楽しく過ごせた一日でした。このような機会が年に何度かありますので、多くの教職員のみなさんの参加をお願いします。

